

アライグマ（洗熊、浣熊、学名：Procyon lotor）は、哺乳綱食肉目アライグマ科アライグマ属に分類される哺乳類。アライグマ属の模式種。タヌキに似ており

頭胴長 42 - 60 cm、尾長 20 - 41 cm、体重 4 - 10 kg 飼育下では体重が 20 kg に達するものもいる

形態；灰褐色の体毛をもち、眼のまわりから頬にかけて黒い斑紋がある。タヌキと誤認されることが多いが、タヌキとの違いとして長いふさふさとした尾には黒い横縞があるのが大きな特徴である

足が黒いタヌキやアナグマと比べて、アライグマの足は白っぽく、耳には白い縁取りがある

分布；アメリカ合衆国、カナダ南部、中央アメリカ（メキシコなど）を原産地

生息地；基本的に水辺近くの森林に生息するが、湿地、農耕地、海岸、都市といった幅広い環境に適応できる。基本的に夜行性だが、昼でも活動することがある。

自分で巣を掘ることはなく、他の動物が地中に掘った巣穴、木の洞、時には農家の納屋や物置などで休む

四肢に水掻きはないが泳ぐことが可能で、後ろ足で立つこともでき、木登りもうまく、立体的な行動をみせる

行動圏は基本的に直径 1-3 キロメートルの範囲

食性；雑食性で、両生類、爬虫類、魚類、鳥類（卵）、哺乳類（死骸を含む）、昆虫類、甲殻類、その他の無脊椎動物、植物（果実など）と非常に幅広い食性を示す。水生生物の中では、とくにザリガニ類を好む。

アライグマを罠で捕獲する際の誘引餌には、スナック菓子（キャラメルコーン）やマヨネーズ、揚げパンといった人間の食べ物を用いることが多い

両手で物を掴み二本足で歩き持って行くこともある。

視覚は良くない。

繁殖；雌は 1 歳、雄は 2 歳で成熟し、2 歳以上の妊娠率はほぼ 100%。

繁殖期は 1-3 月で、妊娠期間は 63-65 日、春に 3-6 頭の子供を生む、夏に出産することもある。一夫多妻制で、雌が子育てをする。

寿命は最も長いもので野生下では 13-16 年

感染症；アライグマはアライグマ回虫、狂犬病、レプトスピラ症などの人畜共通感染症のキャリア動物。感染症の予防のためには、アライグマを扱う際は手袋を着用して肌をできる限り露出せず、病原体が含まれている可能性のある排泄物や血、もしくはそれらで汚染された土などを素手で触らないようにし、使用した衣類や道具は消毒することが重要